

基地周辺対策特別委員会

令和4年9月12日開催
執行部からの主な報告内容

- ・航空機騒音状況記録簿（令和4年5月～令和4年7月）
阿多田島住民のご協力をいただき、24件の騒音実態が記録されました。コメントを添えて毎月防衛省へ提出するとともに、騒音対策への配慮と、訓練等の情報提供をお願いしています。
- ・阿多田島におけるデシベル値測定表（令和4年5月～令和4年7月）
阿多田島漁協の屋上に防衛省が設置している騒音自動測定器での計測結果です。90デシベル以上となった回数は、5月45回、6月28回、7月26回で、3カ月の合計は99回でした。前年同期の51回と比較して2倍近く増加していますが、その理由は期間中に外来機が飛来し、訓練で一時展開したことが影響しているのではないかと推察されます。
- ・岩国飛行場周辺の航空機騒音状況
防衛省が岩国航空基地の周辺市町25カ所に設置している騒音測定器から計測された値を、うるささ指数(Lden)に変換して集計しています。大竹市内には阿多田島漁協とサントピア大竹が測定地点です。月別のLdenの平均値で、測定地点のうち居住区に該当するものを比較すると、阿多田島はほぼ毎月、最も高い数値を示しています。

※ Ldenは昼間、夕方、夜間の時間帯別に重み付けを行った1日の等価騒音レベルです。

その他、住宅防音工事対象区域の見直しや、山口県住宅環境改善支援事業補助金などの説明がありました。

議会改革特別委員会（令和4年7月～9月）

主な協議内容

- 7月7日 第2回議員アンケート実施における是非
- 7月26日 第2回アンケート実施結果による意見交換
- 8月9日 アンケート回答に対する全議員出席での相互質疑応答
- 8月25日 議員定数について最終結論にいたる採決までの流れ
- 9月12日 議員定数についての採決、および委員長報告の確認
- 9月28日 これからの活動方針について



議員への
アンケート結果



議会改革
特別委員会会議録

9月12日の委員会では議員定数に関して6名の討論があり、その後、議員定数について現状維持か削減かを採決した結果、現状維持4名 削減3名となり、議員定数は16名で維持すべきと決めています。

↓ 本会議へ

本会議では8名の議員から討論があり、採決の結果、現状維持10名 削減5名となり、委員長の報告の通り議員定数は16名で維持すべきと決めています。

本会議での討論

【維持とすべきとの討論】

- 「市民へ独自で行ったアンケートでは、多数の方が定数削減に反対している」
- 「大竹市議会がどのような姿を目指していくか明らかにした上で定数を考えるべき」
- 「無投票だったから減らそうでは安易すぎる」
- 「削減するにしても具体的な人数がまとまっておらず、根拠のある数字を導き出せる状況にない」
- 「議論不足の状況で結論を急ぐべきではなく、現行の定数に頼らざるを得ない」

【削減とすべきとの討論】

- 「定数削減するのは今しかない」と強調したい
- 「15名で議会運営をこなしてきた実績もあり、将来の人口減少を予測し1名減とすべき」
- 「議員を減らせば議会事務局職員も減らすことができ、財政改革の効果もある」
- 「過去に16名からの議員定数削減の署名が出されたこともある」
- 「無投票になることへの重大さを考え議員自らが身を削る改革として定数減すれば、次回選挙において無投票となっても有権者に納得してもらえると考える」

本会議での議員定数に関する審議結果表

賀屋幸治	末広天祐	藤川和弘	原田孝徳	小中真樹雄	中川智之	小田上尚典	北地範久	西村一啓	和田芳弘	網谷芳孝	児玉朋也	山崎年一	日域究	細川雅子	寺岡公章
—	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○

—：議長
○：現状維持
●：削減